

ecsub tasks.tsv の書き方

2018.4.16

Ai Okada

このドキュメントについて

- `ecsub` は AWS ECS を使用してバッチ処理を行うツールです。
- このドキュメントでは `ecsub submit` コマンド実行時 `--tasks` オプションで指定する `tasks` ファイル書き方を解説します。

リポジトリ: <https://github.com/aokad/ecsub>

フォーマット

- タブ区切り ("¥t")
- 先頭はヘッダです。
 - コンテナにコピーするもの
 - --input [NAME] s3 ファイルのパス, 指定ファイルのみコピー
 - --input-recursive [NAME] s3 ディレクトリのパス, 再帰的にコピー
 - コンテナから外に出すもの
 - --output [NAME] s3 ファイルのパス, 指定ファイルのみコピー
 - --output-recursive [NAME] s3 ディレクトリのパス, 再帰的にコピー
 - 環境変数のセット
 - --env [NAME] 環境変数
- コメント行には対応していません。

例 (./examples/tasks-wordcount.tsv)

--env NAME	--input INPUT_FILE	--input-recursive SCRIPT	--output OUTPUT_FILE
Hamlet	s3://ecsub-ohaio/wordcount/input/hamlet.txt	s3://ecsub-ohaio/wordcount/python	s3://ecsub-ohaio/output/hamlet-count.txt
Kinglear	s3://ecsub-ohaio/wordcount/input/kinglear.txt	s3://ecsub-ohaio/wordcount/python	s3://ecsub-ohaio/output/kinglear-count.txt

ヘッダ

1行1タスク

2つめのタスク

ファイル入力

ディレクトリ入力

ファイル出力

環境変数を使用するときの例